

**重要：WSJが開催するスケートボード大会において選手が着用するヘルメットに関してのレギュレーションに変更があります（2025年12月追記）**

※従来まで該当するヘルメットを使用していた選手は 2025 年日本選手権より使用できなくなっておりますのでご注意ください

- WSJ が主催するスケートボード大会においては全ての性別・年齢・種目でヘルメット着用を義務としています
- 大会において着用が認められるヘルメットは、スケートボードでの使用を想定・推奨(※)されているヘルメットのみとし、作業用、災害対策用、一般安全用など本来の使用用途ではないヘルメットに関しては **WSJ** 主催のスケートボード大会での使用は認めません  
※一般的にスケートボード用として販売されているヘルメットをさします
- バイザー(つば)付のヘルメットに関しては国際大会では使用を認められておらず、**WSJ** 主催スケートボード大会においてもその使用を認めません(2025 年日本選手権より施行)
- ヘルメットは頑丈なストラップ(あごひも)が備わっているもので、そのストラップを正しく装着する必要があります(装着した状態で容易に脱落してしまうような状態でない必要があります、ブカブカな状態では出走不可です) ゴム紐など簡易なストラップ(あごひも)のみ備わっているヘルメットは使用できません
- キャップやビーニーなどを被った上からのヘルメット着用は禁止ではありませんが、ヘルメット本来の性能を低下させる可能性があるため推奨しません
- ヘルメット未着用またはストラップ未装着などの状態ではスタートできません  
上記のようにストラップがブカブカな状態でも未装着と同様とみなします  
この場合に一定の時間以上の待機はありません(未スタートでも一定時間経過でカウントダウンが始まってしまいます)ので、ストラップを正しく装着した状態で出走スタンバイが必要になります
- 選手が大会会場でチェックインする際に使用するヘルメットの確認をします  
その際に使用が認められないヘルメットしか持っていない場合は出走できません

2025 年 12 月

ワールドスケートジャパン スケートボード委員会